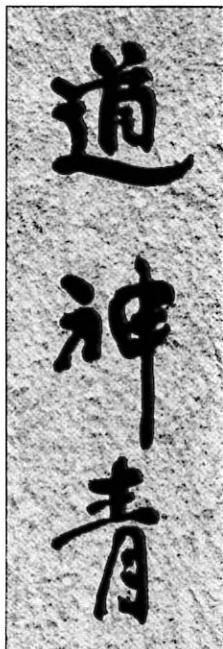




開講式で挨拶する前田会長

第52号
北海道

神道青年協議会

平成23年11月30日

平成二十三年十月二十五日、平成二十三年度の北海道神道青年協議会研修会が『いのちどころ』（人心）をテーマに開催されました。道内各支部の青年会より七十一名の会員が参加しました。

一講目の講師であるFCCN家族子供ケアネットワークカウンセリングセンター代表阿部ゆかり先生・二講目の講師である釧路動物園園長山口良雄先生・北海道神社庁研修所長代理釧路支部支部長巖島神社宮司菊池吉郎様・北海道神社庁釧路支部副支部長鳥取神社宮司木下正明様・神道青年全国協議会会长帶廣神社宮司大野清徳様を来賓にお招きし午後一時半より開講式を行いました。

第一講は「神職におけるメンタルケア」（心的外傷後ストレス障害）と題して阿部ゆかり先生にご講演賜りました。ご講演では阿部先生が過去のご自分のお話をされ、心的外傷



開講式で挨拶される神青協大野会長

（トラウマ）というものがどんな人にもあり、私達のすぐ身近にあるものだとお話をされました。又、トルウマから鬱病などの精神の疾患を知り、我々が神職として実際にできることをご教授いただきました。

- ・専門知識を得て問題の理解をすること
- ・情報を与えること

- ・専門家へ繋げること
- ・本人や家族の話を聞き受容すること

又、心的外傷を持つ方に話をする際に気をつける事として、その人の話を否定から入るのではなく、きちんと肯定しながら話を聞いてあげることが大事という事等、話のテクニックを実践的な問題形式で確認し、社頭で実際にそのような人に出会った時、我々は話を聞いてどのように力になれるのかを考えさせられました。



二日目の第二講では、釧路動物園園長山口良雄先生に「いのちとふれあいのちをつむぐ」というテーマでご講演賜りました。動物園の紹介、釧路の様々な動物の写真を見せていただき事から始まり、釧路動物園の象のナナの死、後ろ足に障害を持つて生まれたアムール虎のタイガとココアの成長のお話を通して動物の「生」というものに全力でぶつかり合ってきた山口先生の思いが伝わりました。

また、そのお話の中で『捨い上げた命には生かす責任がある』『生命は生きているからこそ輝く』という動物とふれあいの中での感覚取つた山口先生のお言葉に深く感

今、神職はどうあるべきかを考えます。

銘を受けました。

現在の日本では自ら命を絶つ人が十五分に一人いるといわれており、非常に嘆かわしいことです。心に何かを抱えて参拝に来られる方々に対し、いかに力になつていけるか。その為に神職という立場で地域と密着し、頼られる存在になれるようになり努力していくことを考え方されました。

旭川神社

権補宜 西端 啓佑



道神青協では、公式ホームページを立ち上げ、広く青年会の活動を広報し、また、一般の閲覧者の方にも役立つ情報誌を掲載するなどして、インターネットを通じた教化活動を行っております。

現在は、掲載内容に一部編集中の個所等があり、更新が滞っておりますが、随時更新をし、また、徐々にコンテンツを増やして、多くの皆様に御質問、有効に御活用戴けるホームページ運営を目指します。

是非、より多くの皆様に御閲覧戴けますようお願い致します。

道神青協

ホームページ

■ 北海道神道青年協議会
公式ホームページ

<http://www.doshinseijp/>

道神青協

スポーツ大会

平成二十三年十月六日、札幌中央体育館に於いて道神青協スポーツ大会が開催され、七十名の会員が参加しました。

私は、今年度より道神青協に入会員として加入させて頂き、スポーツ大会に参加するのも初めてでありました。支部の諸先輩方からは、今まで野球やボウリングをしていましたとお聞きしておりますが、今年は運動会として色々な競技を行うということで、初めてということもあり、当日までのような感じで進行していくのか想像もつきませんでした。

当日会場に着くと、くじ引きで四チームに分かれました。開会式では芦原理事が選手宣誓を行い、日頃、手長で鍛えた腕力、膝進で鍛えた脚力で正々堂々戦う事を誓いました。



優勝は、最後のリレー走を制した伊部副会長チームでした。それまで一位だった狩野副会長チームはまさかの最下位となりメンバーは悔しさをのぞかせていました。

はまきの最下位となりメンバーチーム一丸となつて闘ったということがあり、会話も弾み、より一層親睦が深められたかと感じました。

その後行われた懇親会の席も、スポーツ大会でのチーム毎に分かれ、表彰式などを行いましたが、先ほどチーム一丸となつて闘ったということがあり、会話も弾み、より一層親睦が深められたかと感じました。今回初めて参加させて頂きましたが、滅多に会う事が出来ない会員の皆さんとも親睦を深める事が出来、大変有意義なスポーツ大会であつたと感じております。これも会長を始め役員皆様の御協議の御陰だと思います。誠に有難うございました。

尻岸内八幡神社
禰 宜 荒木 直弥

おられましたので団体競技における意思疎通がうまくいかないのではないかと思いましたが、そのようなこともなく、たつた今出来たばかりのチームとは思えないほど盛り上がっていたと思います。

また競技ごとにチーム同士優劣をつけることによって、短い時間でしたが、各チーム团结力がより一層生まれたのではないかと私は思います。



単位会活動報告

文月会十一月例会 教養研修会『自衛隊体験入隊』

平成二十三年十一月十日から十
一日の間、加藤剛会長以下十三名
の文月会会員は真駒内駐屯基地内
にある第十八普通科連隊に体験入
隊した。

開講式には、北海道神社札幌支
部上田祐之副支部長にも研修所長
代理として、お越し戴き開催され
た。



小春日和の中、到着すると早速、
お借りした迷彩服に黒いブーツとい
う自衛官の姿となり、入隊式が行わ
れ、「日本の秩序を守る自衛隊と、
日本の伝統を守る神職の皆さんがこ
うした体験入隊を通して研鑽を積む
事は大変素晴らしい事です。」と連
隊隊長よりもお言葉を頂戴し、皆気
を引き締めた。



入隊式を終えると装甲車に体験乗
車し、その後は自衛隊の基本姿勢・
行動を御指導戴き、夕食後には自衛
隊の雪祭り制作活動や震災の支援活
動の映像を鑑賞し、その後は震災支
援の生々しいお話を承った。
翌日は十km行進を行い、交代で野
外に於いて過ごす為に最低限必要な
荷物十kgを背負いながら基地内を歩
いたが、最後は自衛官の方が、我々
の日頃の運動不足を気遣つてくださ
り、残り一kmは走る事となつた。一
人の脱落もなく無事体験入隊を終え
除隊式を迎えた。



日本の平和と安全を守る自衛隊の
隊員に接するこの機会は、非常に貴
重な体験となつた。厳しい訓練の毎
日を過ごす自衛隊の方々には日々畏
敬の念を抱くばかりであつた。
我々青年神職も日本の伝統を守る
べく、日々の奉仕はもとより、折々
の諸活動に真摯に取り組んでいかな
ければならないと強く感じた研修と
なつた。

北海道神道青年協議会理事
諏訪神社 権禰宜 北方 宏和

神青協復興支援活動並視察報告

復興支援活動(於 福島県)

平成二十三年七月二十日

地域への復興支援として、ボランティア活動に初めて参加させて頂きま

した。

大野参与・鎌田(孝)会員



復興支援活動(於 岩手県)

平成二十三年九月二十一日

大野参与・前田会長・伊部副会長・
垂水会員・濱田会員

未曾有の大災害より半年余りが
たつた九月二十一日、被災された

今回の活動は、大船渡市と釜石市
との二班に分かれ活動が行われまし
たが、私は大船渡市にて側溝の清掃
作業に従事して参りました。神青協
会員が約三十名、現地にて合流した
他団体のボランティアの方々が約十
名、総勢四十名での作業となりまし
た。道路脇の側溝の蓋をはずし、土
砂やヘドロの除去を行いましたが、
大量のガラスの破片や住宅建材等、
津波による被害の大きな爪痕が今で
も広範囲に亘って残っていることが
実感させられました。

当日は台風の影響の雨により、午
前中だけの作業でしたが、側溝の蓋
は大変重く、土砂は何度も搔き出し
てもなかなか溝の底が見えず、単純
な作業とは言え、想像よりも遙かに
大変な作業となりました。

今回ボランティアに参加させて頂
きましたことはこういった清掃活動
や瓦礫撤去の他に、引っ越し作業など、
お手伝いさせて頂くことはまだ
たくさんあると言つことです。その

ことを、自分の周りの人に伝え被災
地への関心をいつまでも持つてもら
い、これからも様々な形で復興支援
に携わって参りたいと思つております。

北海道神宮

権禰宜 垂水 真伸

大野参与・前田会長・狩野副会長・
山口事務局長・須田会員・鎌田(将)
会員・月館会員

復興支援活動(於 宮城県)
平成二十三年十一月七・八日

去る十一月七日・八日の一泊二日
に亘り、全国より百七名の有志参加
のもと、大震災復興支援ボランティ
ア活動並び被災地の現状視察が行わ
れた。第一次福島県、第二次岩手県
に続き第三次宮城県での実施となっ
た。



七日の支援活動は、宮城郡七ヶ浜
町鎮座鼻即神社班、石巻市湊鎮座一
皇子宮・石巻市八幡町鎮座拝幣志神
社班、南三陸町ボランティア班の三
班に分かれ行われた。

私は、南三陸町ボランティアセン
ターを通じて漁港近くの現場にて作
業する事となつた。そこには漁業関
連の用具が散乱しており、他のボラ
ンティアにより手は加えられていた
が、まだまだ片付けにほど遠い状況
であった。



ボランティアでは、すべて津波に
より流されてしまった漁師さんの事
を想い、使用できそうな道具(網やう
き等)は分別された。限られた時間の
中では到底片付けられないものの、

参加者は何とか元通りにしてあげたい一心に力を合わせ、作業が行われた。

八日には東松島市野蒜鎮座白鬚神社・名取市閑上鎮座湊神社にて視察が行われた。

震災より約八か月の時が経ち大津波の恐ろしさ、その勢いのすごさは、惨状を見るだけで想像できてしまう状況であった。

今回の支援活動を終え、まだだ支援を継続しなければならないと強く感じた。確かに現地に赴き、瓦礫の撤去や焼き出しをするもの直接の支援ではあるが、報道が少なくなっている現状、もつと多くの人に自分が見て感じたことを伝え、少しでも被災地への関心を高め、支援の輪が広がるようにする事こそ、間接的ではあるが、自分にできる支援であることだと感じている。

樽前山神社

権補宜 月館 良治

石巻市北上町・鹿嶋神社視察

神青協主催「復興支援ボランティア活動（第三次・宮城県）」へ参加した翌日、道神青協が六月に復興支援活動を行わせていただきました。鹿嶋神社（石巻市北上町鎮座）岸浪均宮司様にお会いして参りました。

鹿嶋神社をはじめ近隣神社では、ポーティブル石油ストーブ五台を持参し岸浪宮司様にお渡ししたところ、

ただ、境内に高く立派にそびえる二本のご神木（杉）は津波の塩害を受け、全ての葉が茶色く変色しており、岸浪宮司様は残念だが伐採するしか手がないのではと嘆いておりました。

道神青協より宮城県下で購入をしたポーティブル石油ストーブ五台を持参し岸浪宮司様にお渡ししたところ、

人々の生活や車窓から望む風景を通していかなければと改めて実感致しました。

今後も私達は出来うる支援を継続していくことと改めて実感致しました。

社殿への階段を上ると東京・下谷神社阿部宮司様が設置された仮社殿があり、注連縄が張られた立派な覆屋も取り付けられておりました。



北海道神道青年協議会会長

金刀比羅神社 権補宜 前田 穂



六月復興支援時の様子



鹿嶋神社現在の様子

こここの鹿嶋神社は「麦酒の神様」であるということを六月の活動後に知り今は缶ビールをお供えして参りましたが、私達がお参りする前に既に瓶ビールや多くのお賽錢があがつておりました。

ただ、境内に高く立派にそびえる二本のご神木（杉）は津波の塩害を受け、全ての葉が茶色く変色しており、岸浪宮司様は残念だが伐採するしか手がないのではと嘆いておりました。

神青協 夏期セミナー

去る平成二十三年八月三十日、三十一日、國學院大學に於いて平成二十三年度・神道青年全国協議会夏期セミナーが、主題を「教育」(道徳教育の再生)に向けて、前田会長を始め五名が参加し、総数で百七名が受講した。

第一日目は常磐松ホールにて開催され、第一講に演題を『今なぜ「ならぬことはならぬ』か』として、會津藩校日新館館長宗像精先生による御講演、第二講には演題を『日本人が自信と誇りを持てる教育を目指して』として、前衆議院議員千葉科学大学客員教授萩生田光一先生による御講演が行なわれた。講演後には会場を移し、懇親会が開かれた。

第二日目は会場を大学内の教室に変更し、第三講に演題を『家訓づくりプログラム』として、公益社団法人日本青年会議所徳溢れる心醸成会議の皆様からのナビゲートによる実習が行われた。受講者全員が家訓づくりを実践し、最

優秀賞には神青協大野会長が選ばれた。

二日間を通して、祖先から脈々と受け継がれてきた道徳教育の再興に向け、我々青年神職が、何をどのようにすべきかを熟考させると共に、実践に努める意欲をより高めるセミナーとなつた。



北海道神道青年協議会副会長
厚別神社 補宜 三橋 厚友

北海道神道青年協議会事業頒布品 千島桜ピンバッヂの御案内

北海道神道青年協議会では、北方領土返還要求運動の新たな展開を図るため、返還運動の統一的なシンボルとして、北方四島に分布している『千島桜』をモチーフにしたピンバッヂを作成致しました。

北方領土問題は我が国がかかる大きな問題です。北方四島は当然我が国に帰属すべき領土であり、国民一人ひとりに正しい認識を深めていただくことが大変重要であると考えます。

このピンバッジを身に付けアピールすることにより、一人でも多くの国民がこの北方領土問題について考えるきっかけになれば幸いです。



事業品名：千島桜ピンバッヂ(シルバー)

頒布価格：1個500円(送料込み)

御入金：到着時に同封の振込用紙を御利用下さい。

(振込手数料は御負担願います)

御申込：北海道神道青年協議会事務局

〒0690817 北海道江別市野幌代々木町38-1

電話011-383-2467 FAX011-383-3894

info@doshinsei.jp 錦山天満宮社務所内



新入会員紹介



神保
智弘
じんぼ
ともひろ



松山
智博
まつやま
ともひろ

一、 豊宗神社・出仕
昭和四十七年四月七日

二、 札幌支部青年神職文月会
札幌支部青年神職文月会

三、 映画鑑賞
まだ未熟者の為、皆様方の御指導ご鞭撻の程宜しくお願ひ致します。

四、 五、 映画鑑賞
まだ未熟者の為、皆様方の御指導ご鞭撻の程宜しくお願ひ致します。



菊池
友亨
きくち
ともゆき

一、 崎島神社・権禰宜
昭和五十六年五月八日

二、 釧路管内神社青年会
釧路管内神社青年会

三、 囲碁・将棋・バイオリン
道神青の一員として日々努力して参ります。今度ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願ひ致します。



菊池
吉史
きくち
よしふみ

平成二十三年度
新春研修会

期 日	平成二十四年二月二十一日(火・赤口)
会 場	北海道神宮 頤宮
講 師	医療法人社団伸孝会 いね泌尿器科 理事長・院長 鈴木伸和先生
演 題	『東日本大震災直後の医療支援活動』 (検死業務)
参 加 費	一名 500円 無 料
懇親会費	

前田体制も半年が過ぎ、スポーツ大会、研修会と諸行事を始め、復興支援活動にも積極的に取り組んでおります。これからも諸先輩方を始め、会員の皆様方には、益々の御支援と御協力の程、宜しくお願い申し上げます。
(北方)

- 一、奉職神社・職名 二、生年月日
三、単位会 四、趣味・特技 五、一言

今後の予定

平成二十三年度
北海道神道青年協議会

題字『道神青』について
本通信は、平成四年二月一日創刊にあたり、当時の中野尹亮北海道神社庁々長に御揮毫戴いたものです。

編集後記

道神青協通信第五十二号発行にあたり、社務御多忙の中、御寄稿戴きました役員・会員の皆様に、心より厚く御礼申し上げます。

前田体制も半年が過ぎ、スポーツ大会、研修会と諸行事を始め、復興支援活動にも積極的に取り組んでおります。これからも諸先輩方を始め、会員の皆様方には、益々の御支援と御協力の程、宜しくお願い申し上げます。
(北方)

北海道神道青年協議会事務局
錦山天満宮社務所内
電話 011-383-2467
 fax 011-383-2494

※例年、中央研修会に合わせて、北海道内の会員が多く参加出来るように研修旅行企画しております。何卒多くの会員の参加申し込みをお待ち申し上げます。

一、足寄神社・禰宜
昭和五十年七月十九日

二、十勝支部青年神職会
雅楽・読書・映画鑑賞

三、昭和五十年七月十九日

四、豊宗神社・禰宜
昭和五十年七月十九日

五、明るく懸命に努力して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

六、北海道神道青年協議会
主催 神道青年全国協議会
主管 北陸神道青年協議会
担当 福井県神道青年会
会場 ホテルフジタ福井
参加費 一二〇〇〇円(研修費・懇親会費含)

E-Mail

info@doshinssei.jp